

令和元年度 立川ターミナル実地踏査（案）について

(1) 調査概要

平成 30 年度に策定した立川ターミナルサイン基本ルール（以降、基本ルール）及び立川ターミナルサイン整備計画（案）第 1 期（以降、整備計画）の内容を踏まえ、今年度の設置予定の各種サインの整備を各事業者が進めています。

平成 30 年度には、様々なサイン利用者に、実地踏査（計 4 回）や実証実験に参加いただき、ご意見を今年度のサイン整備（自立型、吊り下げ型、壁付け型及びナンバリングサイン等）に反映しました。

整備計画では、今年度設置予定のサインを補完するためサインとして、路面への誘導（指示）サインの設置を、令和 2 年度に予定しています。設置にあたっては、利用者実態を踏まえて、配置方法やレイアウト、色などについて整理していくことが必要と考えています。

そのため、設置予定場所でサインイメージのサンプル（紙媒体）を置き、見え方を実際に確認し、課題等を把握するため、下記の調査を実施します。

(2) 実施概要

○概要

項目	内容
日時	○令和元年 11 月下旬から 12 月上旬 ※参加者との調整により複数日も想定（最大 2 回、2 日間を予定） ※1 回当たり 2 時間半程度を想定
参加者	○移動に制約のある方（市内 or 市外） （車いす利用者、ロービジョン、色覚、聴覚、知的など） ○1 人で移動が可能な方（移動に制約のある方は介助者を必要としない方）
調査内容	○路面に設置予定のサインサンプル（紙媒体）を実際の設置場所で確認（色の違いによる複数パターン、複雑な分岐点での設置数等の検証等） ○確認後に、気付いた点等について意見交換等

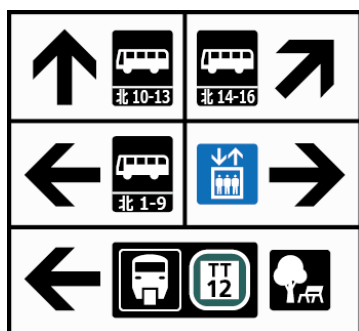
○実地踏査の流れ（当日のイメージ案）

時 間	項 目	内 容	備 考
0:00 (10 分)	参加者集合	・ J R 立川駅に集合 ・ 実地踏査の趣旨及び流れの説明 ・ 学識者の紹介	
0:10 (100 分)	実地踏査	・ 3 ～ 4 箇所程度でサインのサンプルによる確認 ※参加者の状況によっては 2 チームに分けて移動 ※移動を含め 1 箇所 15 ～ 20 分程度 ※地上部 2、デッキ部 2 など	
1:50 (30 分)	意見交換	・ 実地踏査の振り返りと意見交換 ※会議室への移動時間を含む	
2:20 (5 分)	終了	・ 参加のお礼と閉会の挨拶	

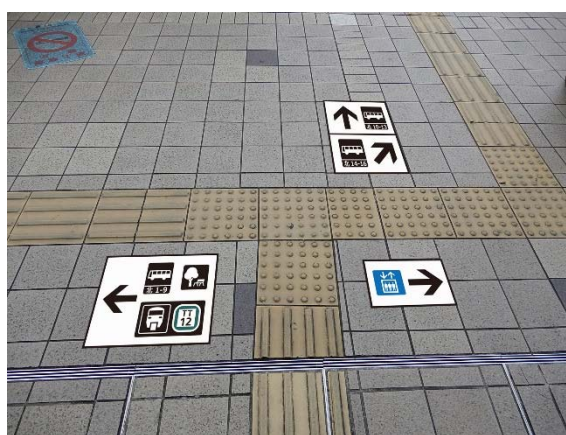
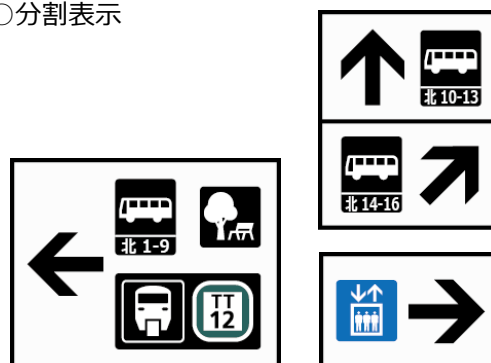
(3) 主な確認事項

①路面状況に応じた分割配置の必要性

○一括表示

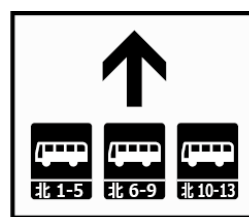
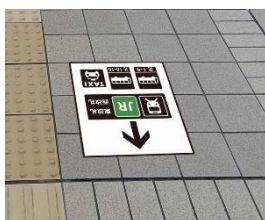


○分割表示



②地図（図解）サイン・バス案内との表示の統一性

○路線マーク以外は黒地白文字で表示したケース



○路線マーク及びバス案内を地図（図解）サイン・バス案内の表示と同様にしたケース

